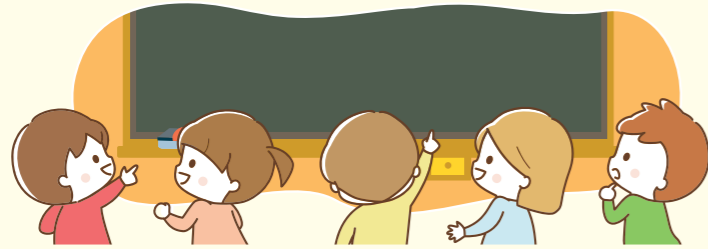


# 『小学校入学に向けて体験しよう』



義務教育開始前後にあたる5歳児から小学校1年生の2年間は“架け橋期”と呼ばれ、生涯にわたる学びや生活の基盤つくる重要な時期と言われます。

今回は、その架け橋期前半の小学校入学前に付けておきたい力について、実際の保育現場での事例を通してお話いたします。また、心理学の視点からもお話いたします。

さらに、4・5歳児のお子様には、小学校での生活に向けて効果的な遊び等を楽しみ体験していただけます。



奈良学園大学  
人間教育学部  
人間教育学科  
高岡 昌子 先生



奈良学園大学  
人間教育学部  
人間教育学科  
石原 由貴子 先生

## 開催予定

日時：令和5年9月2日(土) (10時30分～11時30分)  
場所：奈良学園大学 3号館2階 幼小接続室  
対象：4・5歳児のお子様、及びその保護者の皆様  
定員：20組  
(定員に達しましたら、募集を締め切らせていただきます)

こちらから  
申込みください。



第15回登美ヶ丘カレッジ  
申込フォーム

※ソーシャルディスタンス・換気・消毒の徹底等、感染防止対策を行います。  
※教員だけでなく学生も参加します。

## ニューズレター第10号 編集後記ご挨拶

今回第10号の表紙には、医療法人北寿会アップル学園前理事長様より寄稿頂きました。「真っ赤に実る林檎のように、生き生きと円熟した人生を送って頂きたい」とのお言葉は幅広く地域の皆様に響くことでしょう。

さて、本学には青い林檎たちが充実した学びを展開しております。本誌3ページで紹介されたサークルの研究活動もその一部です。

令和5年3月28日(火)より、下記リンク先にて公表されています。

(下記リンク内の「教材」の項目一番下までスクロール)

<https://www.pref.osaka.lg.jp/jinken/internet/index.html>

低学年教材作成は、奈良学園大学担当：「みんなともだち」

中学年は関西大学、高学年は大阪教育大学が担当されました。

WEB上の公開となり、保育教育現場でダウンロード及び絵本の貸し出し等で活用して頂く事を目的としています。是非ご活用ください。



奈良学園大学  
社会・国際連携センター長  
善野 八千子

## 第13回・第14回 奈良学園大学登美ヶ丘カレッジ開催

4月15日(土)は、保健医療学部看護学科の佐藤郁代准教授が講師を務め「自宅介護のキラッとエッセンス」をテーマに、6月17日(土)は、保健医療学部リハビリテーション学科の滝本幸治講師が講師を務め「生き方上手で健康長寿」をテーマに公開講座を開催しました。

はじめに日本における65歳以上人口の増減と、家族類型や労働状況が紹介され、地域差にも注目し、奈良県での高齢者人口の推移、近隣府県での人口重心移動について説明がありました。続いて介護保険申請の流れについて、各ステップを紹介、デイサービスについては施設内の動画を用いて紹介がありました。また「キラッとメッセージ」として、介助時の重心移動や姿勢のコツの解説もありました。聴講者から多数の質問があり、アンケート結果からも満足していただいた登美ヶ丘カレッジとなったようでした。



健康寿命とは、健康で日常生活を支障なく過ごせる年齢や期間のことで、平均寿命に対して男性で約8.7年、女性で約12.1年の差があります。寿命までのほぼ10年は、不健康で過ごしている統計が出ています。講座では、フレイルという言葉が多く出てきました。フレイルとは、体が衰えて心身が虚弱な状態を指します。

本講座では、このフレイルをどう防ぐのかについて説明されました。握力やふくらはぎの筋肉量がどのくらいあるかなど、様々なテストも行い、筋肉量の重要性や運動、また食事のタイミングなど、どうすれば健康寿命を伸ばせるかについての説明がありました。フレイルを御存知の受講者も多く、改めて健康への関心の高さを感じました。

## 奈良学園大学周辺施設の紹介 医療法人北寿会 アップル学園前

近隣の「医療法人北寿会 アップル学園前」を紹介いたします。

ご原稿は、医療法人北寿会 アップル学園前理事長 北神敬司 様 からいただきました。



当会は、地域の皆様にとって気軽に何でも相談できるホームドクターを目指し開業した登美ヶ丘クリニックが出发点です。高齢者社会の真只中で、地域の方々に「住み慣れた環境で最後まで、真っ赤に実る林檎のように、生き生きと円熟した人生を送って頂きたい」と、平成10年に介護老人保健施設アップル学園前を開設いたしました。トレードマークの林檎には、私達の思いが込められています。その後も様々な併設施設を開設し、今では、多様なサービスを提供できるようになり、知識豊富なスタッフが常に向上心をもって働いています。運動・栄養・環境どれをとっても千差万別、その方にとって最良を模索し、寄り添い共に生きる、明るい元気な施設です。お陰様で25周年を迎え、地域の皆様



には、「アップルさん」と親しみを込めてお呼び頂けるようになりました。

人は「古い」に対してネガティブなイメージを抱きがちです。確かに若い時のように躍動は出来ませんが、自分のペースで人生を楽しみ、喜びを創造することは可能です。奈良学園さんの隣に、そのような目標をもって日々頑張る高齢者の「居場所」があることをお見知りおき頂けると幸いです。

\*医療法人 北寿会・公式ホームページ <http://www.apple-g.or.jp>

## 地域の皆様へのご挨拶



奈良学園大学  
副学長  
服部 律子

### 10年目を迎えて

奈良学園大学として、人間教育学部人間教育学科、保健医療学部看護学科の2学部2学科体制で新たなスタートを切ってから、今年で10年目を迎えます。この間に、保健医療学部にはリハビリテーション学科を、さらに大学院看護学研究科とリハビリテーション学研究科を開設し、卒業後も専門職として継続して課題を探究し、キャリアを形成する支援を行える体制が整いました。人間教育学科には乳幼児教育、小学校、中等国語、中等数学、中等音楽の5専修に特別支援教育の幅広い教育プログラムを提供できる体制が整っています。また、昨年にはキャンパスを統合し、更なる発展に向けて動き始めました。

地域の皆さまに温かく見守っていただいたこの10年に感謝し、この先の10年、地域の大学として、更なる連携を深め、地域に貢献しながら共に歩んでまいりたいと思います。知的好奇心を刺激し、学生や地域の皆さまと一緒に“ワクワク”できる場となれるよう、教職員一同、力を合わせて頑張っていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 奈良学園大学の教員紹介

奈良学園大学 人間教育学部 人間教育学科

### 葛城 元 先生



私の専門は数学教育学です。高等学校での教員経験を活かして、本学では数学と現実事象のつながりを学ぶ授業などを担当しています。

例えば、日本の伝統文化のひとつである折り鶴は、紙を広げると数多くの図形が潜んでいます。その構造を数学的に紐解けば、長方形や三角形の紙でも折り鶴を作ることができます。

現在は、子ども達が数学を使って探究する力を身につけるための教材開発に関する研究を行なっています。

奈良学園大学 保健医療学部 看護学科

### 小池 伝一 先生



私は、4月から看護学科で、子どもと家族の看護について担当しております。私が小児病棟の看護師として働いていた頃、病棟で子どもたちの看護をおこないながら、「子どもにとって一番良い援助とはどんな援助だろう」と常に考えていました。今でもその癖が抜けず、現在は、小児病棟や障がいをもつ子どもが入院する病棟の看護師の方々と一緒に「子どもにとって一番良い援助」について、研究を継続しております。

病棟で子どもたちが、つらくてぐったりしている姿を見ると切なくなり、何かケアをしなくては、と思います。そのことから、子どもが熱、下痢、吐いたりした時、回復するためのケアなど、皆さんと一緒に考えていけたらと思っております。

奈良学園大学 保健医療学部 リハビリテーション学科

### 野中 紘士 先生



私は理学療法士で、主に筋肉の構造や機能についての授業を受け持っています。筋肉は病気や加齢などにより減少し小さくなります。筋肉が小さくなると筋力が低下し、思うように体が動かせなくなったり、転びやすくなったりします。したがって、筋肉の減少を予防する方法や筋肉を増やす方法を指導することは理学療法士にとって重要な課題です。

私は、筋肉の減少を防ぐ方法や筋肉を増やす方法などをテーマに研究を行っています。

## 卒業生からのメッセージ



奈良学園大学  
人間教育学部  
人間教育学科  
3期生  
関本 和也 さん

私は、奈良学園大学で小学校教諭、中学校国語教諭、高等学校国語教諭の免許資格を取得しました。

大阪府の教員採用試験に合格し、小学校の教員になり今年で4年目を迎えます。

昨年度は市の代表として大阪府公立小学校算数教育発表にて公開授業を行いました。また、ICTが当たり前になっている教育現場で、子どもだけではなく保護者や教師にとっても有益な活用方法を積極的に提案してきました。

大学時代には80人のオープンキャンパス運営メンバーの学生リーダーとして、リーダーシップを学びました。また、韓国や台湾、カナダへの海外研修を通して、さまざまな価値観にふれることができました。

当時のゼミでお世話になった先生には、今でも仕事の相談にのって頂いたり、教師の心に火を灯したりして頂いています。改めて、奈良学園大学で学ぶことができ良かったと思います。

## 在学生からのメッセージ



奈良学園大学  
保健医療学部  
看護学科  
1回生  
岡田 陽星 さん

幼い頃から人を救う事に興味があり、人を助けることができる自衛隊をめざしていましたが、いつからかその人の生きる力をサポートしていきたいと思うようになっていました。色々な職業に興味を持ちましたが、最終的には困っている人を近くで支えることができる看護師を目指すようになりました。後に知ったのですが、他界した祖父は私が看護師になることを望んでいたらしく、祖父の願いを叶えるためにも、周りの人から頼って貰えるヒーローのような存在の看護師になりたいと考えています。困難なことはあると思いますが、それらを乗り越えた時の達成感がさらに自分を強くさせることを高校時代の部活で学びました。この学びを活かして4年間、頑張ります。

## インターネット上の人権侵害の解消のための「低学年の絵本教材」の制作 ～幼小接続サークルの取組～



この春より、私たち「幼小接続研究サークルプロジェクト」メンバー14名が中心となって作成した絵本が完成し、WEB公開されました。

昨年6月から半年間、大阪府教育庁からの依頼を受け共同研究を行いました。その経緯は、サークルの顧問である人間教育学部の善野八千子先生（前大阪府人権施策審議会会長）より、お話をいただき幼小接続サークルでの研究に至ったものです。

絵本教材の制作を行う上で、『言葉』『見た目』『背景の色合い』の3点において、どのようにすれば、より児童にとって受け入れやすくなるかを考え工夫をしました。

言葉の工夫では、一人称を限定せず、家庭の事情にも配慮して「おうちの人」という表記にしました。見た目の工夫では、ジェンダーレスについて考え、性を限定しないような絵にしました。背景の色合いの工夫では、文章を読むことがまだ難しい小学1・2年生でも伝わるように、展開によって明暗を付けるなどの工夫を行いました。

今後はこの絵本を活用して、インターネット上の人権侵害について考えることのできる児童を増やしていきたいと考えています。

奈良学園大学 人間教育学部 人間教育学科 2回生  
野口陽菜 (幼小接続サークル代表)

